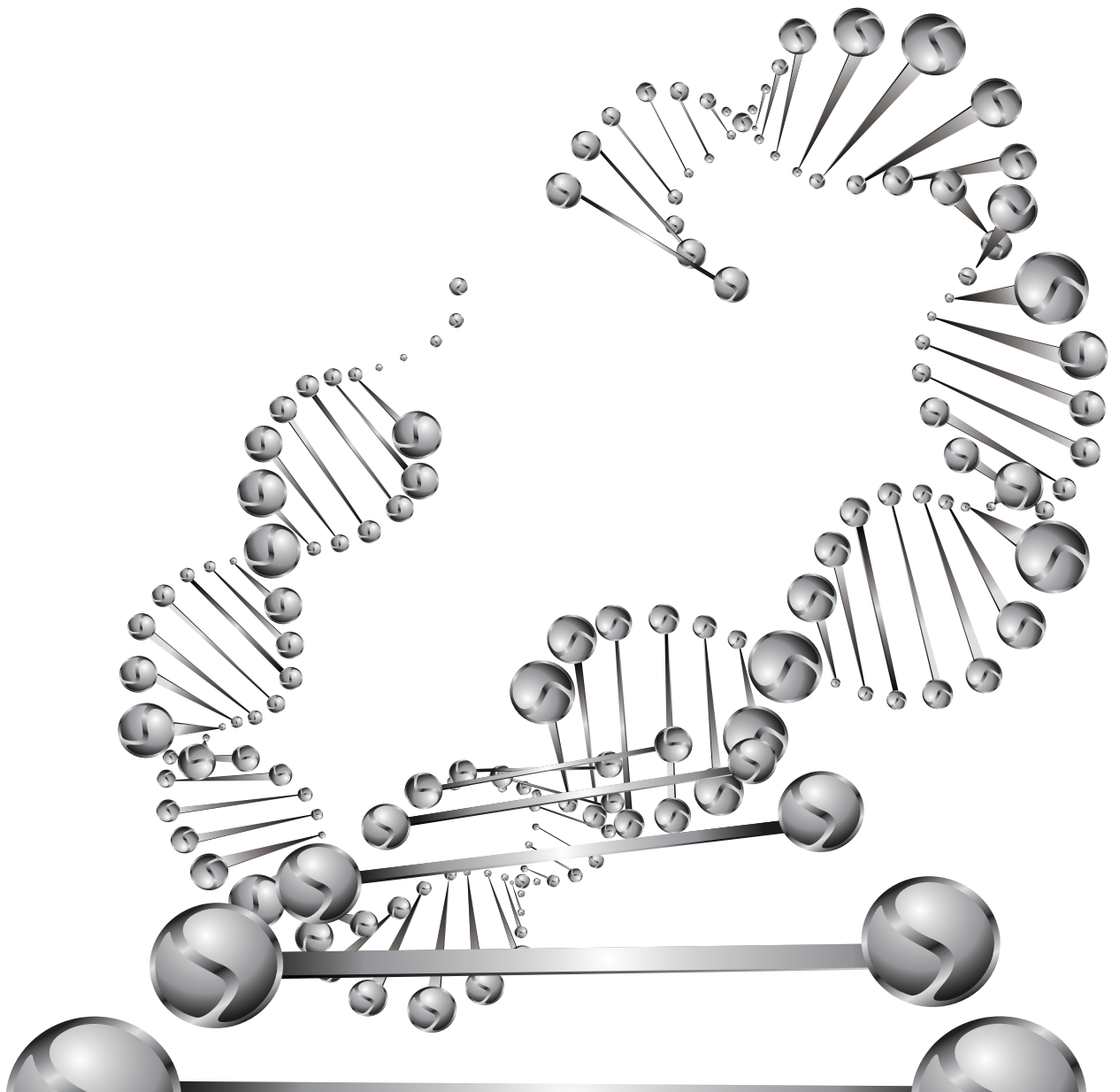




一般社団法人  
再生医療イノベーションフォーラム  
Forum for Innovative Regenerative Medicine



FIRM VISION 2025

革新的な治療の普及のために  
再生医療の産業化を実現する



ご挨拶

FIRM設立から12年の活動の成果として、再生医療産業の基盤が着実に整備されてきました。2019年から率いてくださった畠賢一郎・前会長に深謝いたします。これまで代表理事副会長として会長をサポートしてまいりましたが、日本における再生医療産業の発展のため一層尽力する所存です。

さて、わが国で承認された再生医療等製品は、副会長に就任した5年前は4品目でしたが、本年5月末時点で19品目と大幅に増加しており、研究開発品目数も順調に増えています。今般、経済財政運営と改革の基本方針2023(骨太の方針)にも、創薬力強化の中で「革新的な医薬品、医療機器、再生医療等製品の開発強化」が盛り込まれました。さらに、再生医療を推進する議員の会からも、今年を「再生医療推進スタート元年」にするという提言が出されています。再生医療は、CDMO事業や製造施設・機器・原材料・部素材・検査・物流等に携わる周辺産業を含め、すそ野の広い市場の形成が期待される成長分野であり、日本の再生医療の産業化・成長を後押しする環境変化をしっかりと捉え、FIRMとして再生医療の入口から出口まで足元にある多くの課題を解決することが急務です。

これまで出口戦略の一つとして、日本におけるドラッグ・ラグ/ロスの一因に挙げられる薬価制度に関し、再生医療等製品の多様な価値を適切に評価する新たな価格算定方式の導入に向けた提言を行ってきました。その結果、昨年来開催されてきた厚生労働省主催の「医薬品の迅速・安定供給実現に向けた総合対策に関する有識者検討会」の報告書に、FIRMの主張が一部反映されたことは大きな前進でした。薬価制度のみならず、他の規制・制度等でも既存の枠組に捉われない柔軟な考え方や仕組みが再生医療の産業化には不可欠であり、FIRMとして引き続き取り組んでまいります。

入口支援も、引き続き取り組むべき課題の一つです。再生医療等製品の多くはスタートアップ企業やアカデミアが起源になっており、FIRMは、これまでもそれらを支援してきました。今後は、行政との連携を通じ、より上流から再生医療に関するエコシステムの強化に貢献することで、産業として持続的な成長が可能になると確信しております。



代表理事会長 志鷹 義嗣

さらに昨年は、再生医療等安全性確保法(安確法)下での活動やCDMO事業における課題を議論・解決すべく、FIRM内に特定細胞加工物等委員会を新設しました。再生医療産業は、医薬品医療機器等法下で製品の研究開発を行う企業だけではなく、安確法下で研究開発を進める企業、また、それらを支える周辺産業によって成り立っています。再生医療産業の発展に向け、サポーティングインダストリー委員会、再生医療等製品委員会に本委員会を加えた3委員会が、課題の整理、提言の策定等を継続していくことを期待しております。

最後に、FIRM VISION 2025にあるFIRM運営基盤の強化について、チーム主導体制を構築することで、再生医療の中長期の成長を支えるサステナブルな組織を目指したいと考えています。再生医療の今後の発展には、他のステークホルダーとの連携が重要ですが、再生医療の専門性の高い精鋭集団として種々の議論を促進する役割をFIRMが担っていく所存です。再生医療産業の発展に向け、多業種から成るFIRMの英知を結集し一丸となって進んでまいりましょう。

団体概要

- | 名称 | 一般社団法人再生医療イノベーションフォーラム Forum for Innovative Regenerative Medicine (略称は「FIRM」)
- | 所在地 | 〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目3番11号 日本橋ライフサイエンスビルディング 6F  
TEL03-6262-1575 FAX03-6262-1576
- | 設立年月日 | 2011年6月17日(設立登記)
- | 会員 | 法人会員192社 個人会員13名
- | 会員内訳 | 正会員152社 特別会員4団体 賛助会員36社 賛助会員(個人)12名 名誉会員(個人)1名

代表理事会長	志鷹 義嗣(アステラス製薬株式会社)	
代表理事副会長	畠 賢一郎(株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング)	
理事副会長	廣瀬 徹(ノバルティス ファーマ株式会社)、西内 重治(株式会社日立製作所)	
理事	安武 幹智(旭化成株式会社) 小見 和也(株式会社エスアールエル) 藏多 敏之(協和キリン株式会社) 佐藤 裕史(JCRファーマ株式会社) 木村 徹(住友ファーマ株式会社) 橋本 せつ子(株式会社セルシード) 高橋 亘(第一三共株式会社) 杉本 登志樹(大日本印刷株式会社)	佐野 睦(タカラバイオ株式会社) 岩下 圭二(武田薬品工業株式会社) 中野 貴之(帝人株式会社) 千秋 和久(テルモ株式会社) 高橋 治(PHC株式会社) 山口 豊(富士フイルム株式会社) 近藤 隆重(株式会社メディネット)
監事	矢崎 弘直(EY新日本有限責任監査法人) 鮫島 正(セルスデック)	

(社名の50音順)  
(2023年7月1日現在)



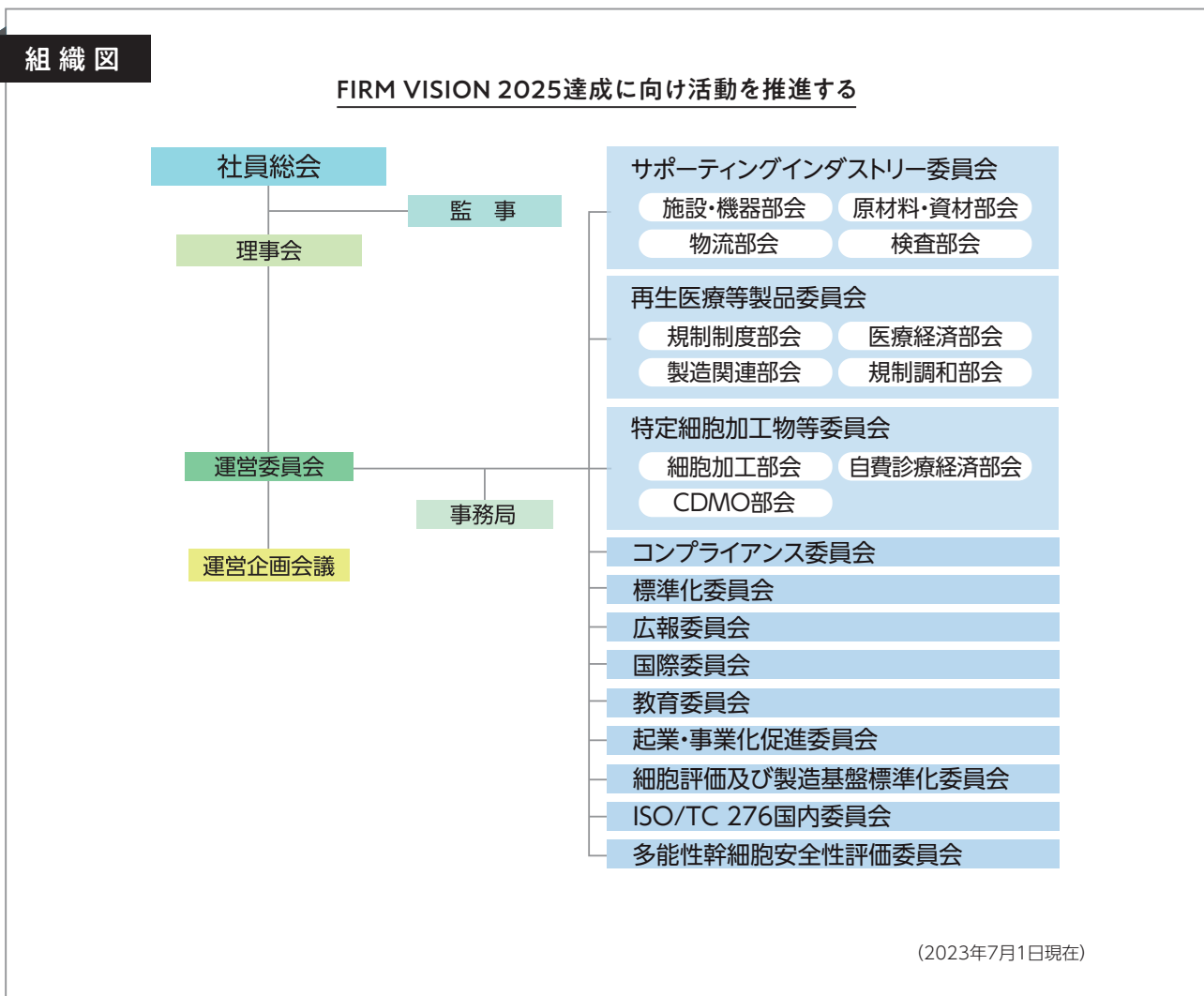
## FIRMの紹介

再生医療および細胞治療は、既存の医薬品や医療機器等にはない新たな概念の医療技術として大いに期待されます。本法人は、既存の医療で充足感を得られていない患者さん並びに医療現場に新たな選択肢となる医療技術を提供すること、及び産官学が一体となって我が国が世界の再生医療をリードすることを目指し、研究成果の速やかな事業化、産業確立に向けた業界、社会体制の整備まで包括的な取り組みを積極的に行います。

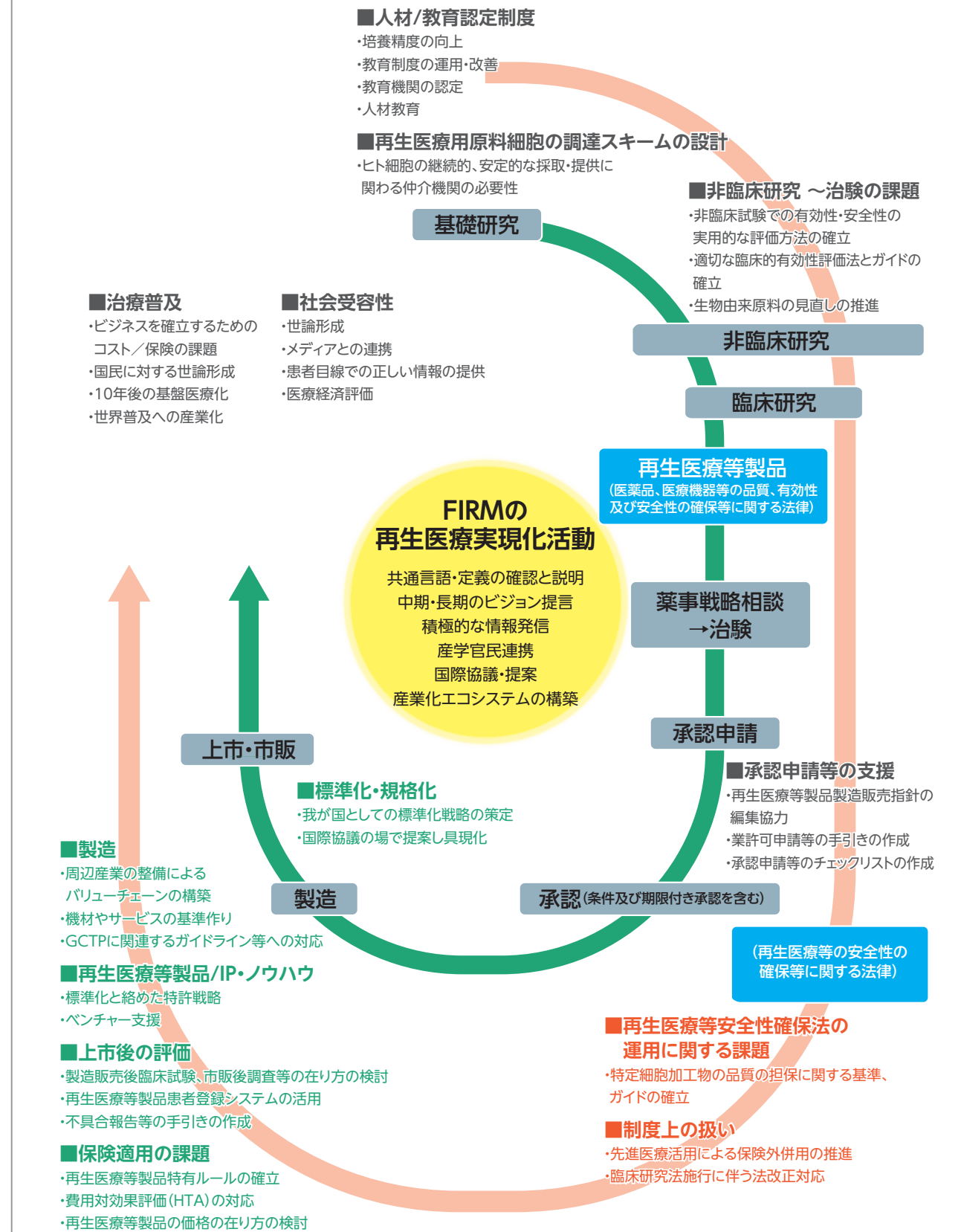
## 事業内容

1. 国際的視点に立った再生医療の産業化戦略及び課題に関する提言と解決に向けた行動
2. 国内外の再生医療に関わる関係者との交流並びに提携
3. 再生医療に関する調査及び統計の実施と公表
4. 再生医療に関する研究会、公開講座等の開催、運営
5. 前各号に掲げる事業に附帯又は関連する事業

## 組織図



## 再生医療産業化にむけて



## サポーターインダストリー委員会 Supporting Industries Committee

再生医療周辺産業バリューチェーンの整備と活性化に向けた取り組みを推進します。

<b>コアメンバー会</b> Core members' meeting	1.4つの部会(施設・機器、原材料・資材、物流、検査)と、4つのWG(イベント企画、市場調査企画、規格化検討、勉強会企画)を中心に活動を推進 2.再生医療等製品委員会の製造関連部会、および特定細胞加工物等委員会との議論を通じ、製造バリューチェーンにおける課題を抽出・整理、さらにそれらの課題の解決策を検討 3.経済産業省、厚生労働省、PMDA、および日本再生医療学会等との意見交換の場を持ち、周辺産業企業の課題・要望を伝え、委員会活動への協力を依頼 4.展示会やFIRMイベント、ウェブサイト等を通じて、メンバー企業や製品をPRする場の提供
<b>施設・機器部会</b> Facility and Equipment Sub-Committee	<b>原材料・資材部会</b> Materials Sub-Committee
1.再生医療等製品委員会/製造関連部会や特定細胞加工物等委員会との意見交換を通じ施設(CPC)と機器に関する課題抽出、および解決のためのリアルな交流会の企画 2.部会内の連携強化のための勉強会、および各社の保有する施設などの見学会の企画 3.再生医療学会、アカデミア、経産省などの規制当局との意見・情報交換の企画	1.製造関連部会との連携を強化して、原材料・資材の課題についての協議活動、またユーザーガイドやQ&A集の作成、FIRMマークの検討 2.生原基検討班の活動、再生医療等製品材料適格性確認書取得製品一覧の更新 3.横断WGと連携し、原材料・資材に関するテーマを協議、検討
<b>物流部会</b> Logistics Sub-Committee	<b>検査部会</b> Testing Sub-Committee
1.物流に関連する課題抽出と解決策の検討 2.施設見学、勉強会の開催(Web、リアル) 3.「再生医療分野(研究開発フェーズを含む)対応物流サービス・物品提供可能会社の問合せリスト」の周知・運用改善活動	1.試験検査法/機器のFIRM事例集(改訂・第2集)を取りまとめ、勉強会/講演会を実施し、第3種領域(歯科、美容、整形他)への周知活動 2.「海外に対してどう広げていくか」について知見のある人々を呼んでの勉強会実施 3.問い合わせリスト作成の検討
<b>部会横断 ワーキンググループ</b>	イベント企画WG 市場調査企画WG 規格化検討WG 勉強会企画WG
	各種イベントの企画・運営事務局を担当 周辺製品、サービスに関する市場調査・実態調査を企画・実行 FIRM マークタスクチームや関係委員会と協力し認証スキームを開発 有識者を招聘し、周辺産業の課題や最新情報を議論

## 再生医療等製品委員会 Cell and Gene Therapy Products Committee

再生医療等製品の開発・製造・販売等に係る規制等の課題を整理し、優先課題を明確にし、活動を行います。  
コアメンバー会及び各部会の役割および主要な課題・活動を示します。

<b>コアメンバー会</b> Core members' meeting	コアメンバー及び各部会長から構成される。再生医療等製品企業が抱える課題を具体的な提案・提言にまとめ、規制当局と折衝を行い、新設・改善等に繋げる。現在、以下の主要課題に取り組んでいる。 1.規格外品(OOS)提供の仕組みの提案 2.患者アクセスの確保をふまえた医療技術・技術料に関する提案 3.FACT等の施設基準の導入検討 4.再生医療レジストリの運用改善 5.条件及び期限付承認制度の課題検討
<b>規制制度部会</b> Regulatory Sub-Committee	<b>医療経済部会</b> Health Economics Sub-Committee
規制制度に係る課題検討、提案・提言の原案を作成する。また、現状の規制・制度に必要な手引き等の具体的ツールを整備することにより、産業化を促進させる。	現状の薬価算定、薬価改定ルールにおける問題点を明確化したうえで、「再生医療イノベーションフォーラム 再生医療等製品の価格算定意見書」(2023年4月26日公開)の提言実現を目指し、以下の活動を推進する。 ・厚生労働省および関連ステークホルダーと意見書に係る継続的な意見交換 ・診療報酬改定に向けた中医協業界意見陳述への対応
<b>製造関連部会</b> Manufacturing Sub-Committee	<b>規制調和部会</b> Regulatory Harmonization Sub-Committee
製造に係る課題検討、提案・提言の原案を作成する。また、製造に関連する周辺産業・サポーターインダストリー委員会とも密に連携し、課題解決のために活動している。	国際委員会と連携し、APACRM(アジア再生医療団体連携会議)の活動を中心として行うとともに、海外団体と連携し意見交換等の活動を推進する。 ※APACRM(Asia Partnership Conference of Regenerative Medicine)

## 特定細胞加工物等委員会 Specific Processed Cells Committee

再生医療等の安全性の確保等に関する法律(以下、安確法)下における再生医療の健全な普及に向けて、特定細胞加工物を用いた研究活動や患者様への治療行為に関係する再生医療に関し、特定細胞加工物製造事業者(届出/許可/認定施設)のあるべき姿、再生医療提供医療機関の課題解決支援、及び患者様への情報提供等について、討議し問題解決に寄与します。本委員会では、政策誘導も含め、FIRM内、及び関係機関(日本再生医療学会、疾患別学会、厚生労働省、経済産業省、PMDA等)との議論を通じて、働きかけを行います。

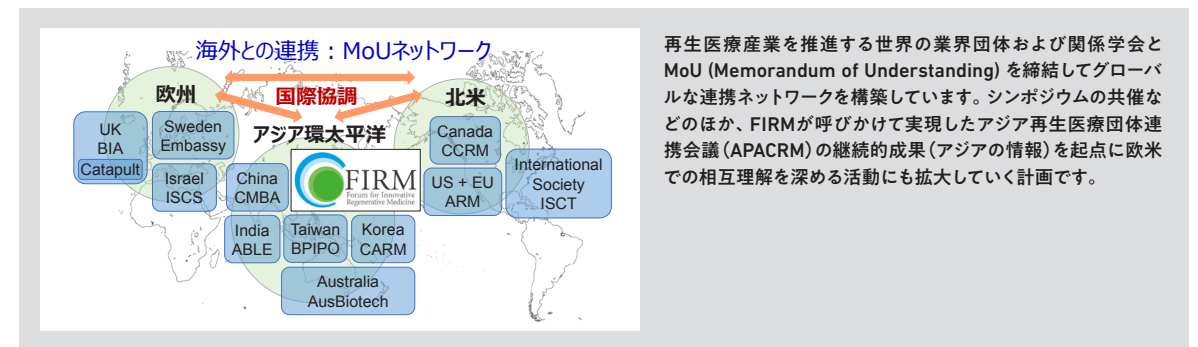
<b>コアメンバー会</b> Core members' meeting	3部会(細胞加工部会、自費診療経済部会、CDMO部会)活動の方向性を議論し推進する。
<b>細胞加工部会</b> Cell Processing Sub-Committee	<b>自費診療経済部会</b> Medical Care Economics Sub-Committee
安確法下の再生医療に関する製造について、特定細胞加工物製造事業者の中で届出機関、許可機関、認定機関、の間での製造に伴うハード面、ソフト面などに加え、運用全般も含む質の標準化を図り、製造全般の均質化を実現する。	安確法下で提供される再生医療に関して、保険外併用(混合診療禁止の適用除外)や民間保険の商品化等を可能にし、患者様の利便性を向上させる。
<b>CDMO部会</b> Contract Development and Manufacturing Organization Sub-Committee	
薬機法および安確法下における再生医療製造に関する特長および課題を抽出し、FIRM内、及び関係機関との議論を通じて、日本のCDMO事業者の競争力強化と再生医療の産業化加速に貢献する。	



安確法に関する勉強会(ハイブリッド開催)の様相

## 国際委員会 International Affairs Committee

FIRMのミッションを達成するために、会員企業の国際連携や進出を支援し、製品創出と事業展開を加速して再生医療領域の産業化推進に貢献します。また、欧米に比肩するアジアの市場の実現のためにアジア各国/地域の規制ハーモナイゼーションを行政とともに推進していくことを目指します。



再生医療産業を推進する世界の業界団体および関係学会とMoU(Memorandum of Understanding)を締結してグローバルな連携ネットワークを構築しています。シンポジウムの共催などのほか、FIRMが呼びかけて実現したアジア再生医療団体連携会議(APACRM)の継続的成果(アジアの情報)を起点に欧米での相互理解を深める活動にも拡大していく計画です。

アジアの規制調和に向け、再生医療等製品に関するレギュラトリーサイエンスの重要な問題をより具体的に議論する手法として内外から注目されています。



APACRM(アジア再生医療団体連携会議)の様相



## 主な委員会

### コンプライアンス委員会 Compliance Committee

FIRM会員は、「再生医療の普及を通じて人々の健やかな未来に貢献する」という社会的使命を自覚し、生命関連産業としての高い倫理観を保持し誠実に事業を行うことにより社会の信頼に応えなければなりません。コンプライアンス委員会は、会員が法令並びにFIRM規則及び自主基準等を遵守する啓発・教育活動を行うとともに、会員の高いコンプライアンス意識を醸成するための活動を通じて、再生医療産業化の推進に寄与します。

### 標準化委員会 Standardization Committee

再生医療バリューチェーンに関わる多くのステークホルダーが活用し資する標準群を整備するための課題検討、開発された標準群の普及促進の方策検討などを推進し、再生医療の産業化に貢献しています。特に、標準群の普及促進策として、周辺産業の製品・サービスに対する認証制度(通称:FIRMマーク)の構築・運営を委員会の枠を超えリードして推進しています。

### 広報委員会 Public Affairs Committee

FIRMが提言する政策の実現に向け、政策テーマに関する活動について、各ステークホルダーの理解・共感を獲得するための情報発信を進めるとともに、再生医療等製品を通じた社会への貢献や、産業化を目指したFIRMの取り組みについて、広く国民の理解を促進するための広報活動を推進しています。その一環として、FIRMの公式YouTubeチャンネルを開設し、FIRMが創作したマスコットキャラクター「ファーマン」「ケロン」を使った再生医療の啓発動画シリーズも展開しています。



### 教育委員会 Education Implementation Committee

再生・細胞医療・遺伝子治療の発展のために、必要とされる人材や人材育成の現状を把握し、本領域の産業化促進につながる人材育成の実現を目指します。本活動は、アカデミア、日本再生医療学会など関係諸機関と協力して実施しています。

### 起業・事業化促進委員会 Venture Establishment/Promotion Committee

産学官連携によるインキュベーションの仕組みの確立を通じ、再生医療産業化のエンジンであるベンチャー企業の創設と育成支援に取り組みます。主な活動はアカデミアの起業を支援し、ベンチャー企業の成長を促すFIRMとして特色のあるイベントの開催と、ベンチャー創設・育成支援に資する情報発信の基盤整備を行います。



ベンチャー創設支援フォーラムの様相  
(起業・事業化促進委員会)



再生医療JAPANセミナーの様相  
(広報委員会)

## 細胞評価及び製造基盤標準化委員会 / ISO/TC 276国内委員会

Committee to Standardize Foundation for Cell Characterization and Cell Production / ISO/TC 276 Japan Mirror Committee

ISO/TC 276国内委員会は、ISO/TC 276(国際標準化機構専門委員会276)の国内審議団体として、「バイオテクノロジー」分野の標準開発を遂行します。

細胞評価及び製造基盤標準化委員会は、上記のうち、再生医療分野の標準化活動のために経済産業省から受託した事業を遂行します。

両委員会とも、FIRM会員を中心とした産業界、アカデミア、政府関係者のメンバーにより構成されています。



ISO/TC 276第7回総会及び合同WG会議 (東京・日本橋)



ISO/TC 276合同WG会議 (カナダ・トロント)

ISO/TC 276はドイツが幹事国を務め、下記の作業部会から構成されています。FIRMは、国内審議団体として各作業部会における日本の活動を担うとともに、作業部会4を運営し、再生医療分野の国際標準化に貢献しています。

作業部会	名称	幹事国
1	Terminology (用語と定義)	ドイツ
2	Biobanks and bioresources (バイオバンクと生物リソース)	フランス
3	Analytical methods (分析方法)	米国
4	Bioprocessing (バイオプロセッシング)	日本
5	Data processing and integration (データの加工と統合)	ドイツ

## 多能性幹細胞安全性評価委員会

Committee for Non-Clinical Safety Evaluation of Pluripotent Stem Cell-derived Product

多能性幹細胞由来の再生医療製品の研究開発において重要となる、国際的な規制方針に合致する安全性評価方法を検討し、そのコンセンサスを得ます。

多施設共同研究を通じて得られた造腫瘍性試験法や細胞体内動態試験の成果を国内外に発信します。

HESI CT-TRACS(健康環境科学機構 細胞治療委員会)における国際コンソーシアム活動を通じて、細胞加工製品の造腫瘍性ハザード検出試験法の性能評価を官民共同の多施設で実施し、当該試験法の再現性・有用性を明らかにし、細胞加工製品特有のリスク評価に関する試験法におけるコンセンサスの形成と国際標準化を図っています。加えて、AMED MEASUREの活動を通じて多施設で比較・検証してきた造腫瘍性関連試験法と体内動態評価試験法の技術的な改善と改良点について国内外に発信し、これら試験法の国際標準化に向けたコンセンサスを醸成します。また、簡便性、汎用性、感度等を更に向上させた評価試験法の開発・確立に継続的に取り組み、国際的な技術優位性を得ることを目指します。



February 4-5, 2020, IABS, Tokyo, Japan



## 会員一覧

正会員	
あ	アース環境サービス株式会社
	IQVIAサービシーズ ジャパン株式会社
	iHeart Japan株式会社
	旭化成株式会社
	味の素株式会社
	アステラス製薬株式会社
	アストラゼネカ株式会社
	株式会社ADEKA
	アドバンテック研修センター株式会社
	アルフレッサホールディングス株式会社
	アンジェス株式会社
	イカリ消毒株式会社
	株式会社池田理化
	イノバセル株式会社
	イブソスヘルスケアジャパンリミテッド
	岩谷産業株式会社
	AGC株式会社
	株式会社エスアールエル
	SDバイオシステム株式会社
	エスベック株式会社
	株式会社NXワンビシアークイブス
	株式会社N-Savior
	株式会社荏原製作所
	大塚製薬株式会社
	株式会社大塚製薬工場
	合同会社オーリオンバイオテック・ジャパン
	株式会社オプティマ
か	科研製薬株式会社
	株式会社カネカ
	川崎重工工業株式会社
	関東化学株式会社
	キッズウェル・バイオ株式会社
	キャンノメディカルシステムズ株式会社
	京セラ株式会社
	杏林製薬株式会社
	協和キリン株式会社
	極東製薬工業株式会社
	ギリアド・サイエンス株式会社
	クオリプス株式会社
	コージンバイオ株式会社
さ	株式会社サイト・ファクト
	株式会社サイフューズ
	株式会社細胞科学研究所
	サラヤ株式会社
	三機工業株式会社
	三建設備工業株式会社
	サンバイオ株式会社
	株式会社サンブラテック
	株式会社シード・プランニング
	CPC株式会社
	JSR株式会社
	株式会社ジェイ・エム・エス
	JCRファーマ株式会社
	株式会社ジェイテックコーポレーション
	シスメックス株式会社
	株式会社資生堂
	澁谷工業株式会社
	株式会社島津製作所
	清水建設株式会社

正会員	
さ	株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング
	株式会社JUNTEN BIO
	株式会社新日本科学
	株式会社スズケン
	住友化学株式会社
	住友ファーマ株式会社
	住友ベークライト株式会社
	株式会社精研
	積水化学工業株式会社
	ゼノジェンファーマ株式会社
	Cell Exosome Therapeutics株式会社
	セレイドセラピューティクス株式会社
	株式会社セルート
	株式会社セルシード
	セルジェンテック株式会社
	セルソース株式会社
	株式会社セルバンク
た	第一三共株式会社
	ダイダイン株式会社
	大日本印刷株式会社
	大陽日酸株式会社
	太陽ファルマテック株式会社
	タカラバイオ株式会社
	武田薬品工業株式会社
	株式会社竹中工務店
	中外製薬株式会社
	帝人株式会社
	帝人ファーマ株式会社
	テルモ株式会社
	デンカ株式会社
	東ソー株式会社
	東邦ホールディングス株式会社
	東洋製罐グループホールディングス株式会社
	凸版印刷株式会社
な	株式会社ナード研究所
	ナノキャリア株式会社
	株式会社ニチレイバイオサイエンス
	日産化学株式会社
	株式会社日新
	日水製薬株式会社
	ニッタ株式会社
	株式会社ニッピ
	株式会社日本触媒
	日本精工株式会社
	ニプロ株式会社
	ネクスレヅジ株式会社
	ノース・アメリカンサイエンス・アソシエイツ・ジャパン合同会社
	ノバルティス ファーマ株式会社
は	Heartseed株式会社
	バイエル薬品株式会社
	株式会社バイタルケアー・エスケー・ホールディングス
	パナソニック環境エンジニアリング株式会社
	PHC株式会社
	ピオメリュー・ジャパン株式会社
	株式会社日立製作所
	日立造船株式会社
	ヒューマンライフコード株式会社
	ファーマバイオ株式会社
	ファイザー株式会社

正会員	
は	ファルマ・ソリューションズ株式会社
	株式会社VC Cell Therapy
	株式会社フコク
	富士フイルム株式会社
	富士フイルム和光純薬株式会社
	プライトバス・バイオ株式会社
	プリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社
	ペプチグロス株式会社
	株式会社ヘリオス
ま	株式会社マイオリッジ
	株式会社マトリクソーム
	株式会社丸菱バイオエンジ
	三浦工業株式会社
	三井化学株式会社
	三井倉庫ホールディングス株式会社
	三井不動産株式会社
	三菱ガス化学株式会社
	Minaris Regenerative Medicine株式会社
	株式会社メディネット
	株式会社メディバルホールディングス
	株式会社メトセラ
	メルク株式会社
	持田製薬株式会社
や	ヤンセンファーマ株式会社
	株式会社UniBio
	ユーロフィン分析科学研究所株式会社
	横河電機株式会社
ら	ライフテックノロジーズジャパン株式会社
	株式会社リプロセル
	リンパ球バンク株式会社
	株式会社レイメイ
	ロート製薬株式会社
	ロシュ・ダイアグノスティクス株式会社
	ロンザジャパン株式会社

特別会員	
	公益財団法人神戸医療産業都市推進機構
	公益財団法人実験動物中央研究所
	一般社団法人日本血液製剤機構
	一般財団法人日本食品分析センター
賛助会員	株式会社アイル
	荒川化学工業株式会社
	アンチエイジング株式会社
	EY新日本有限責任監査法人
	エア・リキード工業ガス株式会社
	エポニック ジャパン株式会社
	大熊製薬株式会社
	オリヅルセラピューティクス株式会社
	株式会社クラレ
	ケンブリッジフィルターコーポレーション株式会社

賛助会員	
	コーニングインターナショナル株式会社
	コアフロント株式会社
	コスモ・バイオ株式会社
	サイトリ・セラピューティクス株式会社
	The United States Pharmacopeia
	株式会社サン・フレア
	C4U株式会社
	株式会社JTBコミュニケーションデザイン
	シミック株式会社
	株式会社ステムセル研究所
	積水成型工業株式会社
	株式会社ソーセル
	株式会社東芝
	一般社団法人動物再生医療推進協議会
	株式会社トラスト・エクスプレス
	株式会社ニコン・セル・イノベーション

賛助会員	
	ノーベルファーマ株式会社
	バクセル・インターナショナル株式会社
	ビー・ブラウンエースクラップ株式会社
	株式会社PPG
	株式会社日立プラントサービス
	ひろさきL株式会社
	フナコン株式会社
	三井情報株式会社
	株式会社リコー
	株式会社ルートセルファクトリー東京

**賛助会員(個人)**  
計12名

**名誉会員**  
計1名

(2023年7月1日現在)

## 入会について

メリット  
01

### 勉強会・セミナーが受講できます

FIRMでは再生医療に関する勉強会やセミナー、様々な講師をお招きしての講演会を定期的で開催しています。会員はこれらの講演会等を受講できます。

メリット  
02

### 委員会活動を通じて様々な関連情報が得られます

FIRMには、サポーティングインダストリー委員会、再生医療等製品委員会、特定細胞加工物等委員会、コンプライアンス委員会、標準化委員会、広報委員会、国際委員会、教育委員会、起業・事業化促進委員会、及び受託事業に係る委員会(現在3委員会)、計12の委員会から構成されています。

メリット  
03

### FIRMの活動を通じて様々な議論ができ、行政等への意思の発信が可能です

FIRMが目指すのは再生医療の普及・産業化に向けた業界団体としての意見発信です。既に関係官庁からのパブリックコメント募集に応えたり、関係官庁の勉強会に参画したり、という活動を行っています。こうした意見、提言の取り纏めは主として再生医療等製品委員会の規制制度部会、医療経済部会で行っています。

メリット  
04

### 会員企業間のビジネスチャンスも期待できます

FIRMには、多様な業種の企業が参加しています。会員企業同士の交流から新たなビジネスチャンスが生じることも期待できます。

会員の種別	定義	年会費	入会金
正会員	一般企業	80万円	20万円
	ベンチャー企業等	20万円	5万円
特別会員	その他法人、団体	10万円	2.5万円
賛助会員	一般企業	40万円	10万円
	ベンチャー企業等	10万円	2.5万円
	非営利法人、団体	4万円	1万円
	個人 (個人とは、個人企業の代表者、医師、学術研究機関(アカデミア)の研究者、企業に所属しない個人、のいずれかを指します)	2万円	0.5万円
名誉会員	理事会が指名した個人	免除	免除

\*理事が所属する会社は上記の年会費以上の金額とする。

【お問合せ先】

### 一般社団法人 再生医療イノベーションフォーラム事務局

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目3番11号 日本橋ライフサイエンスビルディング6F

TEL: 03-6262-1575 FAX: 03-6262-1576 E-mail: info@firm.or.jp 受付時間: 9:30~17:30 休業日: 土日祝祭日・年末年始





**一般社団法人 再生医療イノベーションフォーラム**

〒103-0023 東京都中央区日本橋本町二丁目3番11号 日本橋ライフサイエンスビルディング 6F

TEL: 03-6262-1575 FAX: 03-6262-1576 E-mail: info@firm.or.jp

<https://firm.or.jp/>